

一人ひとりが輝ける学校を目指して

さいたま市立馬宮中学校
校長 衛藤 伸介

私は、令和7年4月1日に馬宮中学校に着任いたしました、本校第25代校長の衛藤 伸介（えとう しんすけ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

馬宮中学校は、荒川を境に富士見市、川越市と隣接する緑豊かな田園環境にある、昭和22年（1947年）創立の学校で、今年度79年目となります。

「馬宮」の名の由来は、明治22年（1889年）の町村制施行に伴い、北足立郡西遊馬村・土屋村・二ツ宮村・飯田新田・植田谷本村新田の一部が合併したことに始まります。この時、西遊馬の「馬」と二ツ宮の「宮」から、「馬宮」という名が生まれました。

荒川の土手からの遠望、徳富蘇峰によって名付けられた「錦乃原」の桜草をはじめとする美しい風景は、多感な生徒たちの心を潤す、すばらしい学習環境です。

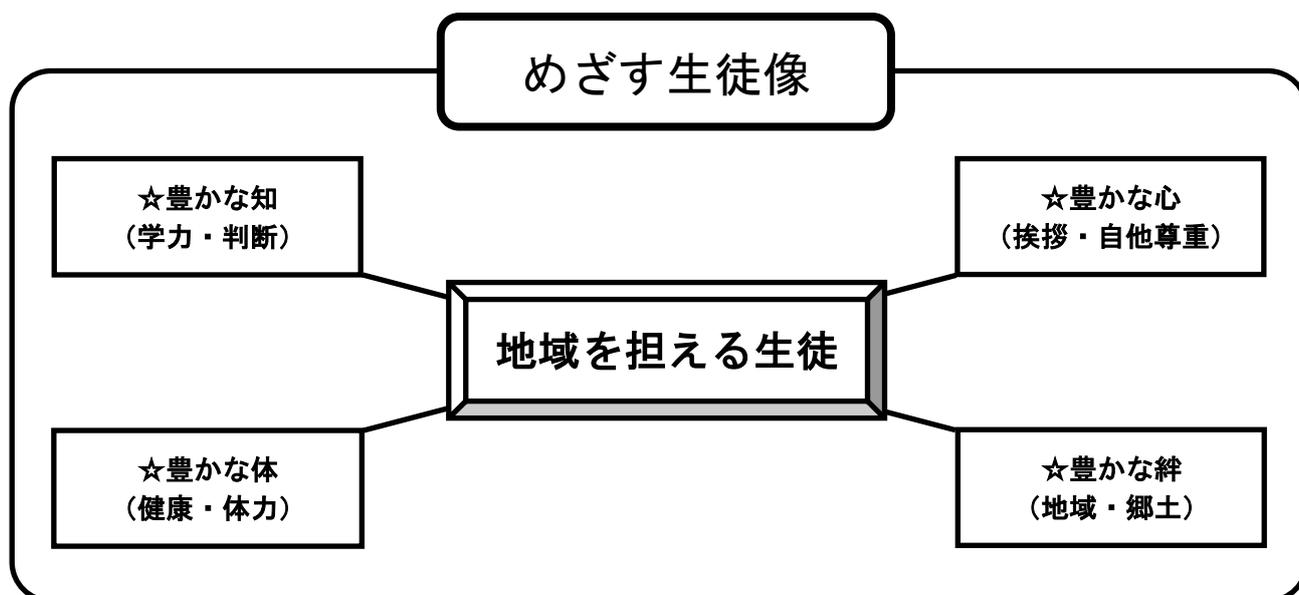
私は、このような素晴らしい学習環境で学ぶ生徒一人ひとりの「個性」を大切に、学校教育目標『未来を拓け 自己の創造 生きる自信』をはぐくむ教育を推進してまいります。

全生徒にとって、学校が居心地のよい場所であり、「子どもたちの歓声が響き、笑顔あふれる学校」を築くことこそが、本校の学校教育目標の実現につながるものと考えます。

教師の指導力向上のもと、生徒が主体的に考えたり友達や教師と対話したりして学びを深める授業を推進し、生徒の学力向上に努めてまいります。

また、生徒の事を常に考え、生徒・保護者に寄り添った対応をしていきます。生徒が、朝「行ってきます」と家を出て、元気に「ただいま」と帰宅できるよう、健康・安全面を何よりも大切に教育活動を進めてまいります。

さらに、「豊かな知」「豊かな心」「豊かな体」「豊かな絆」となる生徒を目指し、地域を担える生徒の育成に努めてまいります。



結びに、馬宮中学校は、地域の方々の厚い御支援をいただき、毎日の教育活動が実施できています。馬宮中学校の教職員は、チームワークのよい教育（知恵の結集）を目指して、今後も教育活動に取り組んでまいります。私は、校長として生徒たちが、自らのもてる力を存分に発揮し、心身ともに大きく成長できるように、学校・家庭・地域が一体となった学校経営を展開してまいりますので、御支援と御協力をお願いいたします。